

日時 令和5年9月13日（水）午後7時から午後8時15分
場所 松平交流館 大会議室
出席者 地域会議委員10名（欠席6名）、事務局5名

【内容】

1 会長あいさつ

2 協議

(1) 「第9次豊田市総合計画策定」に関する諮問に対する答申協議

8月の第3回松平地域会議にて行われた諮問に対する答申について協議を行った。

2班に分かれてグループワークを行い、第9次豊田市総合計画に対する意見を出し合った。

最後に、各班で出た意見を、3つの観点（【仮称】ミライ構想・【仮称】ミライ実現戦略2030について・都市構造について）に分け、全体に対して発表した。

【1班】

(1) 【仮称】ミライ構想

略語や、注釈の必要な単語が多く、分かりにくい。市民に対して説明するのであれば、文字の量が多すぎると感じる。簡潔に分かりやすい言葉で、こどもでも高齢の方でも理解できるような計画にしていきたい。もっと、市民の意見を取り入れて策定してほしい。また、

(3) の議論にもつながる話になるが、第9次豊田市総合計画について考えれば考えるほど、「自分たち松平地域には関係のない、街中の話」というイメージがどんどん強くなる。

「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」という言葉を掲げている以上、どの地域の人も、自分のこととして実感できるような施策を取り入れた計画にするべきである。

(2) 【仮称】ミライ実現戦略2030について

「学び合い」については、例えば職場体験学習のような学校と企業の協力による事業にたいして、もっと行政からも支援をしてほしい。「都市基盤」については、特に山間地域では交通の便は大きな課題であり、もっと考慮した計画にしていきたい。また、「こども」及び「愛着・誇り」については、例えば松平地域では、歴史にふれるために東照宮に行こうとしても、バス等の手段がなく保護者の送迎ありきになってしまう。地域や学校に任せるのではなく、こどもが地域にふれあう機会を創出してほしい。

(3) 都市構造について

市街化区域中心の構造となっており、市街化調整区域に対する施策がほとんどないように感じる。例えば「(仮)えきちか居住誘導エリア」については、「市街化区域を基本とした沿線への居住を誘導」という説明があるが、それは市街化調整区域の住民はどう捉えればいいのか疑問である。山間地域にももっと目を向けた構造にするべきではないか。

【2班】

(1) 【仮称】ミライ構想

昨年度、第2次松平地域まちづくり構想を策定したが、市には単に意見を聞いただけではなく、形として捉えてほしい。28地域会議ごとにまちづくり構想があるかはわからないが、どこの地区も地域課題を事業展開により解決していきたいと感じて、期待しているため、総合計画にいかんにか反映してくれるかが一番のポイントだと思っている。

(2) 【仮称】ミライ実現戦略2030について

現状のミライ実現戦略2030では中身が見えてこないため、意見の出しようがなかった。

(3) 都市構造について

現在の表現だと、市街化区域や街中中心で都市構造の内容が組み立てられているように感じる。豊田市は広いので、移動の距離を縮めることは難しいかもしれないが、時間を縮めることはできるのではないかと。ルートの再検討や移動手段の連携により、距離は遠くても目的地まで早く着くことができれば、生活はスムーズにいくだろう。施設で言えば、今の松平は塾がなく、子どもたちは町の塾に出ていく。スーパーなどもほとんどなく、町場に比べると不便なエリアになっている。ただ、松平の活かせるものはあるのではないかと。ないものは願うこともあるだろうが、活かせるものを活かして活気あるまちにしていこう。住民がそのような意識をもって活動していくことで住みやすくなるのではないかと。そして、若者が次を継ごうという意識が芽生えていくのではないかと。そのようなミライ構想や都市構造になるとよい。

3 その他

地域会議委員選考について、事務局が説明した。

次回会議について

- ・ 日 時：令和5年10月11日（水） 午後7時から
- ・ 場 所：松平交流館 大会議室
- ・ 議 題：第9次豊田市総合計画について（答申協議）など

次回分科会開催日

- ・ 自然との共存分科会 10月11日（水）全体会終了後から
- ・ 子育て応援分科会 10月11日（水）全体会終了後から